

授業科目名 <英訳>	中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 武田 時昌				
配当学年	3回生以上	単位数	4	開講期	通年	曜時限	木2	授業形態	特殊講義
題目	類書の思想史的考察								
【授業の概要・目的】									
<p>「教養ある人間」とは、どのような人物像であるのか。人格形成と社会的自立の過程で要求される「教養」が、文化的生活を豊かにする生活の知恵として有効に機能しているわけではない。学校教育において学び得た教養、あるいは達成した学問的成果が、就職試験においてすら十分な評価の対象となっていないことを考えれば、教養のあり方を再考すべき時期に来ているように思われる。そのような問題意識において、本授業では、類書と総称される書物群の内容的な考察を通して、中国的な「知」の構造を探り、かつての日本人の教養基盤を明確にし、漢籍が文化形成に与えた影響を考える。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>本年度は、類書の構造的な特色を概観した後に、主要な著作を取り上げて、内容的な特色を窺い、それがどのように読まれたのかを検討する。とりわけ、年中行事として今日に至るまで受け継がれてきた習俗の記述にスポットを当て、その社会的、思想的背景を明らかにし、東アジア世界の伝統文化が形成され、継承されていくことに構造的な把握を試みたい。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
<p>平常点（出席よりも自主レポート等の学習意欲を重視する。レポート課題の総合テーマは「東アジア世界における伝統の創造 その情報源の遡及的考察」または「漢文学的素養の本質を探る」である）</p>									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
<p>（参考書） 授業中に紹介する</p>									
<p>（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））</p> <p>旺盛な好奇心と豊かな発想による多種多様な読書活動を通して、文献読解と哲学的思索の界域を自由遊泳することを要望する。</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									